

全農独自の業務用多収品種開発へ

- ✓ 担い手への提案力強化を目指し生販購一貫の「契約栽培」を推進
- ✓ しかし、既存の多収品種は商系業者との競争が激化
- ✓ “より多収・良質”で、本会が“独占使用権”を有する業務用多収品種を農研機構と共同開発し、ニーズに適合した業務用米の安定供給を行う



農研機構

- ◆ 生産力検定試験(営技センター)
- ◆ JAと連携した現地栽培試験
- ◆ 食味・炊飯特性等の品位分析
- ◆ 実需評価試験

連携・共同研究

- ◆ 育種目標に基づく品種の育成

有望品種の選定

「ZR1」を品種登録！ JAグループによる産地推進へ

JA全農・農研機構共同育成品種「ZR1」

登録年：令和5年(2023年)
 育成地：農研機構 東北農業研究センター
 組合せ：にじのきらめき/ゆみあずさ

栽培適地
 東北中南部、北陸、関東以西
 あきたこまちとほぼ同熟期



ZR1の籾および玄米(令和4年東北農研産)
 左：ZR1 中：あきたこまち 右：ゆみあずさ

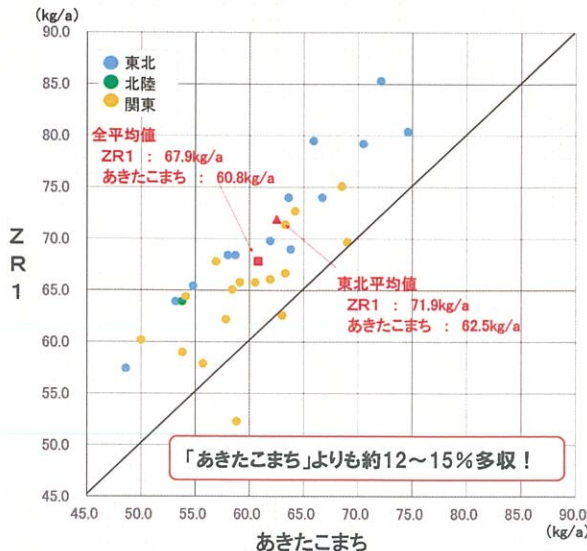
◆ 農研機構東北農業研究センターの成績(秋田県大仙市)

栽培方法	品種	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	倒伏 程度	精玄米量 (kg/a)	同左比率 (%)	玄米千粒重 (g)	玄米品質
標肥	ZR1	7/31	9/12	74	0.5	66.3	117	25.3	4.2
	あきたこまち	7/31	9/11	82	1.9	56.8	100	23.1	4.2
多肥	ZR1	7/31	9/17	83	2.3	76.7	119	25.0	5.0
	あきたこまち	7/30	9/13	91	3.7	64.3	100	23.1	4.4

注1) 標肥は令和元年～4年、多肥は令和2年～4年の成績

注2) 施肥(N-kg/10a)：(標肥)基肥5+追肥5 (多肥)基肥7+追肥5、倒伏程度：0(無)～5(甚)、玄米品質：1(上上)～4(中上)～9(下下)

◆ ZR1とあきたこまちの収量分布(令和元年～5年)



700kg/10a前後の収量性を示し、東北では800kgの**高収量**も期待！
 つぶ感のある良質・良食味の**大粒品種**！

◆ 「ZR1」の主な品種特性

品種名	草型	耐倒伏性	葉いもち	穂いもち	縮葉枯病	穂発芽	耐冷性	高温登熟性	除草剤耐性	玄米品質	食味
ZR1	中間	強	かなり強	かなり強	抵抗性	難	中	中	抵抗性	上中	上中
ゆみあずさ	偏穂重	強	かなり強	かなり強	感受性	やや易	やや強	やや弱	抵抗性	上下	上中
あきたこまち	偏穂数	やや弱	中	やや弱	感受性	やや難	中	中	抵抗性	上中	上中
ひとめぼれ	偏穂数	やや弱	やや弱	中	感受性	難	強	中	抵抗性	-	-

注) 除草剤耐性：4-HPPD阻害型除草剤に対する耐性